

ハクビシン・アライグマに関する Q&A

<ハクビシン>

- ・足跡はねずみより歩幅が広い。
- ・糞は猫や犬のものと似ているが、柿の種や銀杏の殻などが混ざっている。
- ・なわばりを持たないため、メス同志、オス同士が同じ建物に棲みつくことがある。
- ・都会にあるビワの実（人が手をかけずに実った物）、銀杏の実が大好き。
- ・ハクビシンは年間通じて子供を産むことができる。特に春先が多い。
- ・前足は主に歩く時のバランスに用い、物を掴んだり、土を掘ったりはしない。

<アライグマ>

- ・春先に子供を産み、秋頃まで家族単位で移動する。（出産は年1回）
- ・本来、上に登って生活する習性だが、都会に生息するアライグマは側溝を利用して移動していると思われる。
- ・アライグマは、目がよく見えないため手の触感で物を判断する。そのため手をキレイにしておく必要があり、川などで手を洗う仕草が特徴としてあげられる。ベタベタしたものは苦手。

ハクビシン・アライグマの被害を防ぐには、どうしたらよいか。

（天井裏などにいる場合）

- ・建物に面した木の枝を払い、木を伝って屋根に上がれないようにする。
- ・バルサンを炊く（煙を嫌う）。ただし、煙が出るので火事に間違われぬよう注意が必要。※蚊取線香も有効
- ・木酢液や強いミントを屋根裏に塗る。（刺激臭がする）。
- ・電球等を設置して明るくしたり、大きな音で脅かしたりする。
- ・侵入口となる穴を塞ぐ。（ハクビシンは顔さえ入れればタバコの箱くらいの小さな穴でも通り抜ける。）できれば一箇所はパタパタ（中からは出られるが外からは入れないもの）にするとよい。

※穴を塞ぐことが困難な場合は、金網を張ったり、プランターを置いて障害物を作ったりするのも効果的である。ただし、壊されないようしっかり止める。

（庭などにいる場合）

- ・糞があったら清掃・消毒をする。
- ・被害があるところに木酢液などを撒く（刺激臭がする）。
※天井裏など密閉されたところよりは効果が小さい。
- ・餌となる生ごみやペットの餌などを外に放置しない。
- ・敷地内の果物の実は早めに収穫するか、網などをかける。

ハクビシン・アライグマの被害は、どのようなものがあるか。

- ・屋根裏への侵入による夜間の騒音
- ・侵入時の家屋の破損
- ・糞尿による悪臭や衛生的被害、天井のしみ、糞尿の重さにより天井が抜けることもある。
- ・ハクビシンに寄生するダニやノミが持ち込まれる。
- ・農作物や一般家庭の庭先の果実を餌にする。
- ・ペットなどへの殺傷被害

ハクビシンに庭の木の実を食べられて困っている。

区で行うハクビシンの捕獲は、家屋内で騒音や糞尿等の被害がある場合なので、捕獲作業をお受けすることはできません。今後、被害にあわないために、庭の木の実は早めに収穫し、収穫したものを庭に放置するなど、ハクビシンの餌になるようなものを置かないようにしてください。また、家への侵入口になる隙間等がありましたら、ふさぐようにしてください。

社宅に住んでいるが、天井裏にハクビシンが棲みついているようだ。

建物の所有者または管理者にご相談ください。

※公立施設、都営住宅、都市再生機構（UR）・住宅供給公社（JKK）の賃貸住宅、店舗、工場、事務所、私立の学校も同様

個人事業者で、自宅と事務所が同じ建物の場合、区で捕獲作業依頼を受けられるか。

捕獲作業対象は一般住宅で、事業所は対象外です。

建物の居住用部分にハクビシン・アライグマの被害がある場合は対象となり、事務所など事業用部分に被害がある場合は対象外となります。

隣の家（空き家）にハクビシンが棲みついているようだ。

ハクビシンの捕獲作業は、家屋にハクビシンが棲みつき、生活環境に被害が生じている建物の所有者または管理者からの依頼に基づき、状況を詳しく聞いたうえで行います。

- ① 捕獲に伴う作業を行う場合、現場調査で委託事業者が家の中へ入らせていただきます。
- ② 現場調査の結果、捕器を設置することになった場合、捕獲器に取り付ける餌の準備や、設置した捕獲器の見回りなどをお願いします。

このようなことから、空き家の所有者からのご連絡をお願いします。

天井にしみができている。ハクビシンではないかもしれないが、清掃をしてほしい。

区では、糞尿等の清掃のみは行っていません。ハクビシン捕獲作業の依頼を受けて捕獲器を設置し、捕獲器回収時に、希望があれば、捕獲器の大きさと同程度の場所1箇所のみ清掃しています。糞尿等の清掃のみをご希望であれば、直接事業者へ依頼してください。

過去の講習会での質疑応答

- Q ハクビシンによる被害があったため、庭にあったブドウ棚を伐採してしまった。
伐採せずに被害を防ぐ方法はないのか。
- A 果樹の幹にねずみ返しをつけることで、そこから上には登れなくなるため効果的。
ただ、近くに他の木や塀等があると飛び移ってしまうため注意が必要。
- Q ハクビシンの活動（行動）範囲はどれくらいか。
- A 約1 km。複数のねぐらをもっている。冬も冬眠等はせず活動する。
- Q ため糞を見つけた場合、素人が片付けて問題ないか。
- A 感染症の心配をしているのだと思うが、ため糞の清掃で感染する恐れはほぼ無いため大丈夫。不織布マスク、ゴム手袋着用で片付けてください。
- Q 雨戸付近でハクビシンを見かけたため、効果があると聞いた唐辛子成分の入った忌避剤を撒いてみたが、市販の忌避剤で効果はあるのか。
- A 唐辛子成分の入った忌避剤や木酢液等で効果はあるが、置き場所が重要。外に置いても臭いが広がってしまうため効果は薄い。密閉空間に置くと臭いが充満し効果的。侵入口の内側に置いておけば、効果は期待できる。
- Q 北米に住んでいたことがあるが、北米にいたアライグマは凶暴で、対峙すると2本足で飛びかかってくるような状態だったが、世田谷で見かけるアライグマはそんなに凶暴な様子がない。種類が違うのか。
- A 日本にいるアライグマは元々ペットとして輸入された動物で、それが放され野生化しているため、そもそも人を怖がらない。
- Q 都市部にいるハクビシン等は、山間から移動してきたものか、それとも街なかで繁殖したものか。
- A すでに都市部で根づき繁殖している。山間から移ってきたものではない。
- Q 縄張りはあるか。
- A ある。ないとエサが足りなくなるため。
- Q ネズミかハクビシンかわからない動物が天井裏に住み着いている時、どのように判別するのか。
- A 家の外周を回り、足跡を見ると区別できる。足跡にはそれぞれ特徴がある。
なおハクビシンは家の上部、タヌキは床下に住み着く。

- Q 猫対策でベランダに張る猫除けがあるが、ハクビシンやアライグマに効果はあるか。
- A 効果はない。2mは飛んで移動できるので、猫除けのない別のルートを取ってしまう。ただし家の中には入ってこない。
- Q 自宅の屋根に銀杏を食べた跡の糞があり、片付けてもまた繰り返される。屋根に糞をさせないようにしたい。
- A 木を伐採するか、下枝を全部落とせばハクビシンは屋根には上がれない。野生動物は木が燃える匂いが嫌いなので、ホームセンター等で売っている木酢液の濃度の濃いものは一時的でも効果がある。嫌な思いをさせると二度と来ないことが多い。
- Q 金魚を飼っている池の上に金網を張ることは有効か。
- A 有効である。亀甲編みの金網を置くと来なくなる。「ここはダメだ」と覚えさせることが大事。
- Q 庭にアマガエルの足と頭だけが残っていた。これはアライグマか。
- A カラスかアライグマ等と思われる。カラスもそういう食べ方をする。
- Q 植木鉢に、爪や鼻先を突っ込んでいるような穴がたくさん空いている。ハーブも全部食べられてしまった。ハクビシンやアライグマの可能性はあるか。
- A たぶんどブネズミである。ドブネズミは植木鉢の植物はよく食べる。また肥料の油かすが大好きで掘って食べる。ハクビシンやアライグマは穴を掘らない。